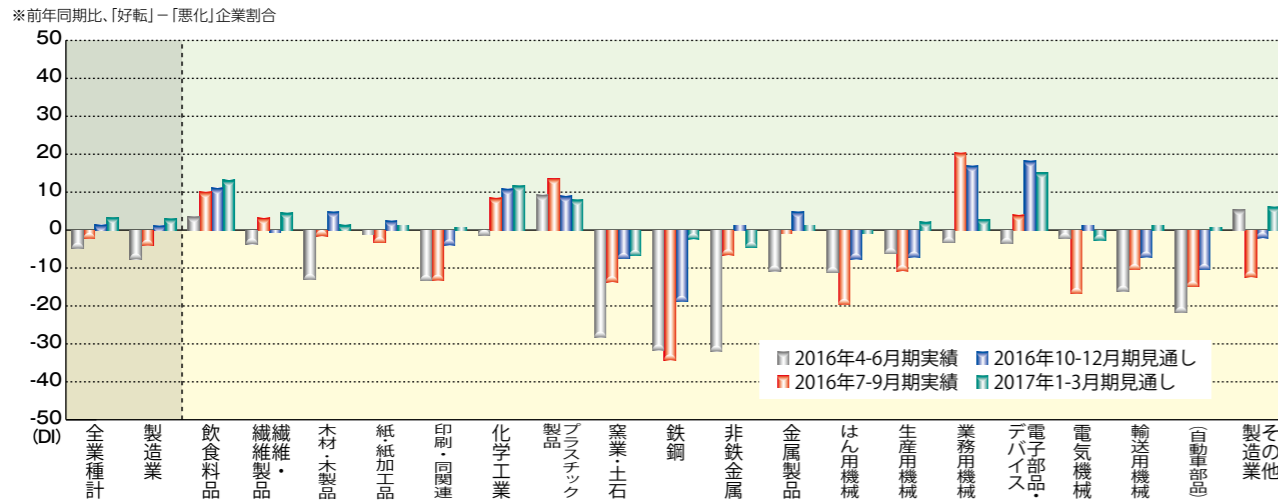


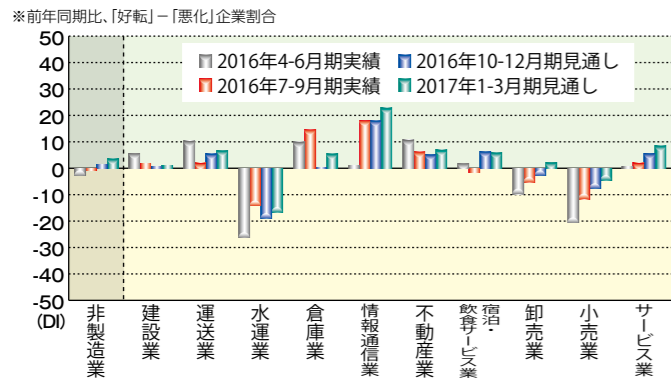
①-2 業種別業況判断

製造業：自動車関連など幅広い業種で上昇
非製造業：卸売、小売業がマイナス幅を縮小

製造業 業種別業況判断DIの推移<季節調整値>



非製造業 業種別業況判断DIの推移<季節調整値>



●製造業
前期の熊本地震による生産調整の反動もあり、輸送用機械や金属製品などでマイナス幅が縮小した。また、仕入価格の低下により、飲食料品、化学工業、プラスチック製品などが上昇した。一方、はん用機械などの設備関連業種では、マイナス幅が拡大した。来期以降も上昇が続く見通し。

●非製造業
非製造業では、卸売業、小売業などでマイナス幅が縮小したほか、情報通信業ではプラス幅が拡大した。来期以降も上昇が続く見通し。

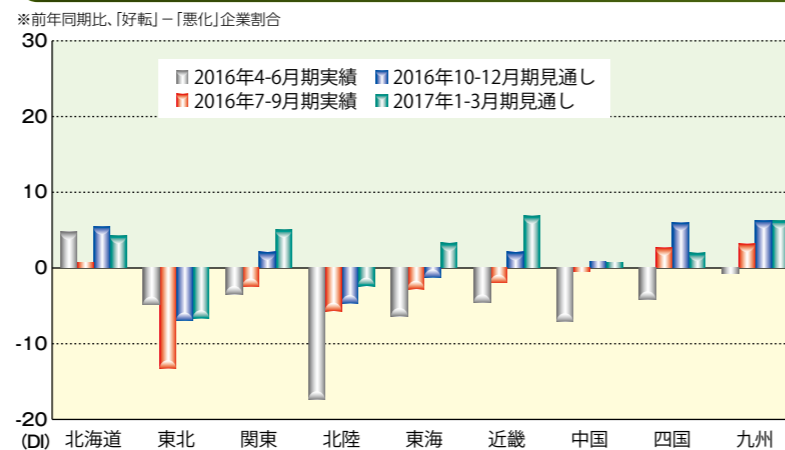
①-3 地域別業況判断

3地域でプラス水準

業況判断DIを地域別にみると、今期は北海道、四国、九州の3地域でプラス水準となった。

来期は、関東、近畿、中国の3地域を加えた6地域でプラス水準となる見通し。

地域別業況判断DIの推移<季節調整値>



データで見る中小企業の動き
全国中小企業動向調査(中小企業編)の結果概要

2016年7-9月期実績、10-12月期、および2017年1-3月期見通し

『中小企業の景況は、
弱い動きはみられるものの、
緩やかに回復している』

日本政策金融公庫総合研究所は10月21日、「全国中小企業動向調査結果(2016年7-9月期実績、10-12月期以降見通し)」を発表した。



今回調査のポイント

- ① 業況判断 DI 4期ぶりに上昇。来期以降も上昇が続き、プラス水準となる見通し。
- ② 売上 DI 4期連続で低下し、マイナス水準。来期以降は上昇する見通し。
- ③ 価格関連 DI 販売価格DI・仕入価格DIともに9期連続の低下。
- ④ 純益率 DI 3期ぶりに上昇。来期は低下、来々期は上昇する見通し。
- ⑤ 従業員 DI 前期から低下。来期以降は上昇する見通し。
- ⑥ 設備投資実施企業割合 前期から上昇し、高水準を維持。

DI (ディフュージョン・インデックス)

当調査のDIは、回答結果の分散程度を指数化したものです。質問に対し「プラス」「中立」「マイナス」の3つの選択肢を用意し、「プラス」の選択肢に回答した企業の割合から「マイナス」の選択肢に回答した企業の割合を差し引いた値で、基本的に「変化の方向」を表します。

DATA

- 調査時点：2016年9月中旬
- 調査対象：日本公庫中小企業事業取引先13,352社
- 有効回答企業数：6,490社(回答率48.6%)

①-1 業況判断

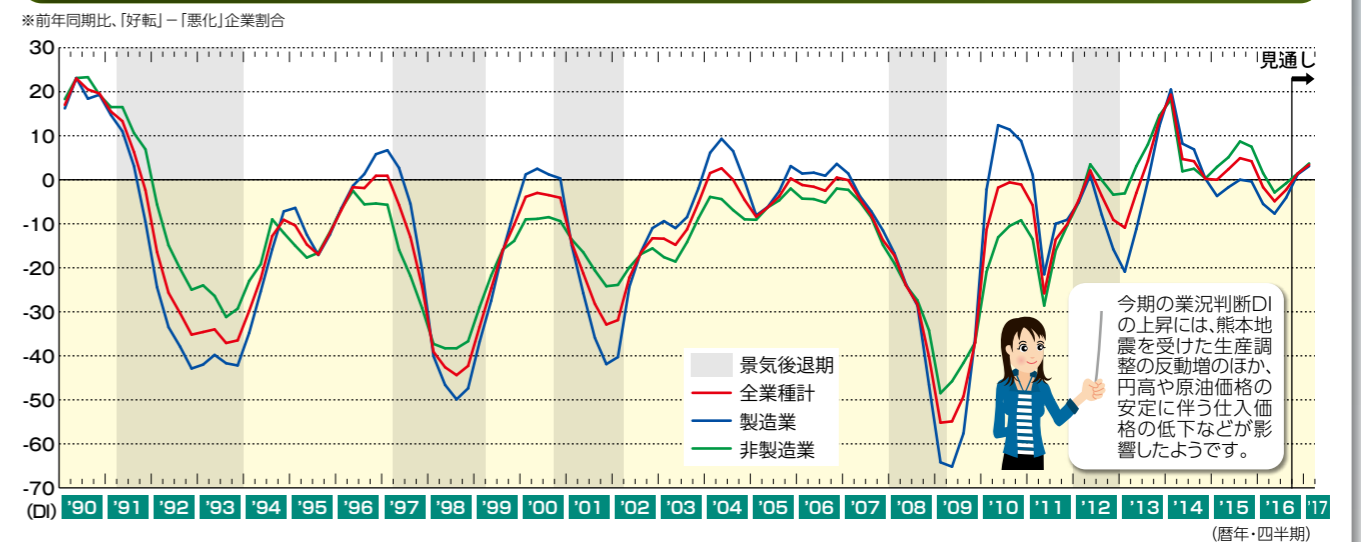
4期ぶりに上昇

▲4.9 ▶ ▲2.3



- 現状 業況判断DI(前年同期比、「好転」-「悪化」企業割合)は、前期から2.6ポイント上昇し、▲2.3となった。
- 見通し 来期以降も上昇が続き、プラス水準となる見通し。

業況判断DIの推移<季節調整値>



④ 利益

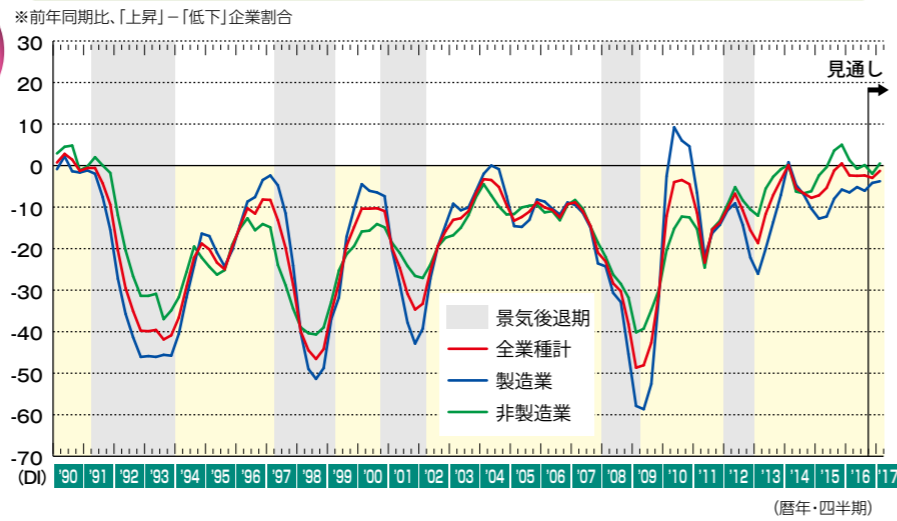
3期ぶりの
上昇

▲2.5 > ▲2.4



純益率DI (前年同期比、「上昇」-「低下」企業割合) は▲2.4と、前期から0.1ポイント上昇した。来期は仕入価格の上昇見通しなどを反映して低下するものの、来々期は上昇する見通し。

純益率DIの推移<季節調整値>



⑤ 雇用

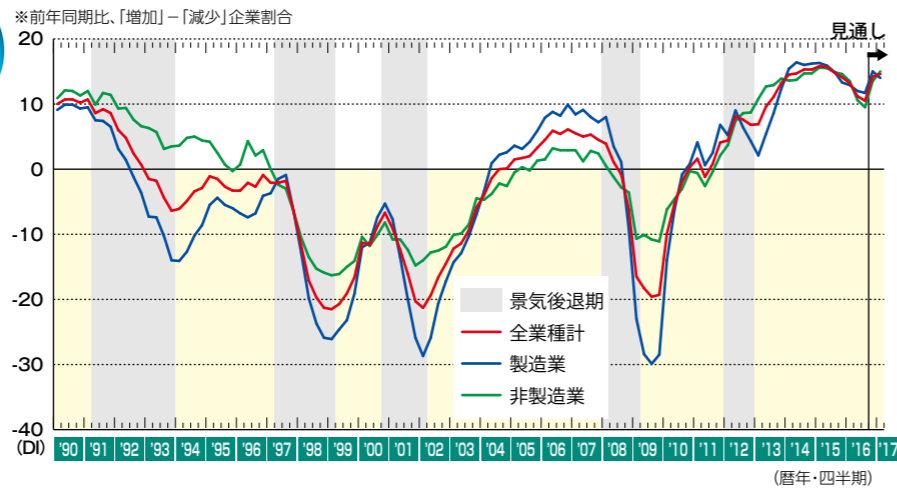
6期連続の
低下

11.2 > 10.5



従業員DI (前年同期比、「増加」-「減少」企業割合) は、前期から0.7ポイント低下し、10.5となった。低下は6期連続である。来期以降は上昇する見通し。

従業員DIの推移<季節調整値>



⑥ 設備投資実施企業割合

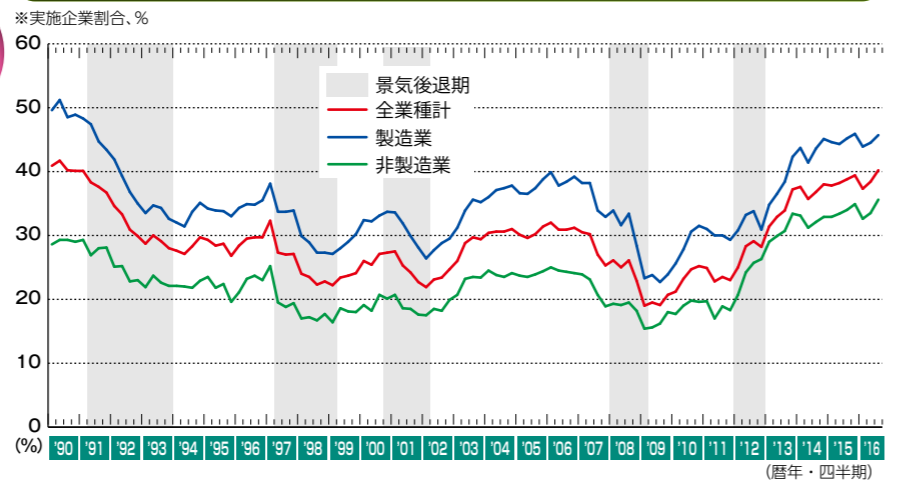
高水準を
維持

38.4 > 40.2



設備投資実施企業割合は、前期から1.8ポイント上昇の40.2%となり、引き続き高い水準を維持している。

設備投資実施企業割合の推移<季節調整値>



全国中小企業動向調査 (中小企業編) について

当調査は、中小企業の景気動向などを把握するために、日本公庫中小企業事業のお取引先のご協力を得て1959年以来3カ月ごとに実施している調査です。調査結果については、中小企業分野においてわが国を代表するビジネスサーベの1つとして、関係各位から高い評価を得ています。

② 売上

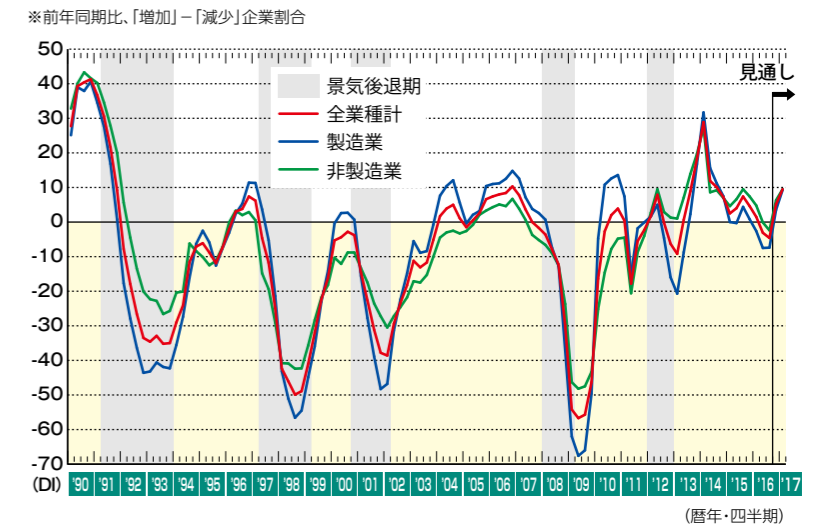
4期連続で
低下

▲3.1 > ▲4.6



売上DI (前年同期比、「増加」-「減少」企業割合) は前期から1.5ポイント低下し、▲4.6となった。売上DIの低下は4期連続である。来期以降は上昇が続き、プラス水準となる見通し。

売上DIの推移<季節調整値>



③-1 販売価格

9期連続の低下

▲4.8 > ▲7.2



販売価格DI (前年同期比、「上昇」-「低下」企業割合) は、前期から2.4ポイント低下し、▲7.2となった。低下は9期連続。来期以降は上昇する見通し。

③-2 仕入価格

9期連続の低下

9.0 > 3.4



仕入価格DI (前年同期比、「上昇」-「低下」企業割合) は、前期から5.6ポイント低下し、3.4となった。低下は9期連続。来期以降は上昇する見通し。

価格関連DIの推移<原数値>

